

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 1日  
18時06分24秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002020000	資産経営室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00082	市有建築施設管理事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	10033	01	02	01	01	13	01	01	市有建築施設管理事業（一般管理費）
所属長	長井 浩				担当者（内線）長谷川 竜平（2170）				
根拠法令等	建築基準法								
事業開始年度	不明	直近の改正		平成25年度					
改正内容	「市有建築物保全システム事業」及び「建築CADシステム事業」の統合。								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	市が保有する建築物（市有建築物）。		
目標	市有建築物の新築・増改築・改修等の工事図面の電子化。 市有建築物の基本情報や保全情報の一元管理。		
結果	設計業務及び工事監理業務の効率化を図る。 市有建築物の現状を把握し、総合的・計画的な維持保全を推進する。		
事業概要	市が保有する建築物の新築・増改築・改修などを行う際、工事図面の電子化を図る。 市が保有する建築物の面積、建設年度などの基本的な情報やこれまでの工事・修繕、点検などの保全に関する情報を一元的に管理する。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	291	331	291	345	304
人件費職員数(人)	17.50	17.50	16.30	16.30	16.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	142,975	138,250	131,248	131,248	129,504
総事業費(A+B)	143,266	138,581	131,539	131,593	129,808
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	143,266	138,581	131,539	131,593	129,808
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	143,266	138,581	131,539	131,593	129,808
財源計(C+D)	143,266	138,581	131,539	131,593	129,808

所属	資産経営室
事務事業番号	00082

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	市有建築物の設計業務及び工事監理業務、並びに市有建築物保全システムを活用した施設情報の一元管理。	目標	市有建築物の新築・増改築・改修等の工事図面の電子化。市有建築物の基本情報や保全情報の一元管理。
成果内容	設計業務及び工事監理業務の効率化を図る。 市有建築物の現状を把握し、総合的・計画的な維持保全を推進する。	達成状況	図面の電子化や情報の一元管理など、目標どおり達成できている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:事業費の主としてパソコンのリース費用及び電子機器の修繕費用など事務作業を行う上で必要最低限の費用であるため。)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析を踏まえると、目標とする効果がでており事業費も適正であることから、事務改善を行いつつ継続することが妥当である。</p>	

## 事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	市有建築施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00082				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点	
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理	点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		内部管理	点	
(5) 持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		内部管理	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	87	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×125(小数点以下切捨て))		

所属名	資産経営室	事務事業番号	00082
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性及び持続可能性については適正であるとする。また、運用マニュアルを作成するなど、室内周知を図り、より効率化を図れるよう取り組む必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 1日  
18時07分01秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002020000	資産経営室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00083	公共施設最適化推進事業			
章	08	基本計画推進のために			
節	04	計画的な行財政運営の推進			
細節	00				
予算事業	10042	01	02	01 01 18 01 01	公共施設最適化推進事業（一般管理費）
所属長	長井 浩		担当者（内線）林（2726）		
根拠法令等	吹田市公共施設総合管理計画				
事業開始年度	平成24年度	直近の改正	平成28年度		
改正内容	公共施設最適化計画の上位計画となる吹田市公共施設総合管理計画が策定されたため				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	道路、橋りょう及び公共用地等を含めた公共施設。		
目標	公共施設を経営資源として位置付け、財務、供給及び品質の3つの視点の総合的かつ適切な調和を図り、最適化を推進する。		
結果	時代と共に変化する市民ニーズ・地域特性に応じた適正な公共サービス水準の維持と、健全な財政状態の維持の両立が可能となる。		
事業概要	学校や公民館などの一般建築物のほか、道路や上下水道なども含めた公共施設について、吹田市公共施設総合管理計画等に基づき、総合的かつ計画的な管理を進める。 一般建築物については、吹田市公共施設最適化計画【実施編】に基づき、個々の施設の最適化の具体的な検討を進める。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,249	1,984	2,354	2,059	6,160
人件費職員数(人)	7.80	7.80	7.80	7.80	7.80
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	63,726	61,620	62,806	62,806	61,971
総事業費(A+B)	65,975	63,604	65,160	64,865	68,131
特定財源(C)	9	13	7	5	5
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	9	13	7	5	5
市負担(D)	65,966	63,591	65,153	64,860	68,126
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	65,966	63,591	65,153	64,860	68,126
財源計(C+D)	65,975	63,604	65,160	64,865	68,131

所属	資産経営室
事務事業番号	00083

2頁  
平成30年 6月 4日  
15時13分24秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	吹田市公共施設最適化推進委員会及び一般建築物、公共用地及びインフラ等各作業部会を開催し、公共施設最適化に向け検討を行う。	目標	公共施設のうち、一般建築物について、早期に方向性を示す施設を中心に個々の施設の最適化の具体的な検討を進める。
成果内容	全庁的な協議・検討のもと、一般建築物を対象とした全施設の個別施設計画の完成に向け、全庁的な協議・調整を行い、個別施設計画に盛り込むべき内容等の素案を作成した。	達成状況	一般建築物について、個々の施設の最適化の具体的な検討を進め、個別施設計画に盛り込むべき内容等の素案を作成した。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費等は適切である。(理由: 事業の目標達成にあたり、実施する内容として、妥当な金額であるため) 今後、吹田市公共施設総合管理計画に基づく、個別施設計画を作成する取組において、業務委託等について検討する必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 市として重要な事業であり、継続することが妥当である。 今後も継続して、平成28年度策定の吹田市公共施設総合管理計画に基づき、公共施設の総合的かつ計画的な管理に取り組む。また、検討時期の分類を行った一般建築物について、個々の施設の具体的な検討を進め、順次、個別施設計画を作成する。</p>		

事務事業分析シート

2018/5/301329

所属名	資産経営室	事業名	公共施設最適化推進事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00083				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	12	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
評価点合計 (100点満点)	80	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	資産経営室	事務事業番号	00083
-----	-------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性、及び持続可能性についてはほぼ適正と考える。また、施設所管課との連携を図るなど、より効率化を図れるよう取り組む必要がある。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について(平成26年4月22日 総財務第74号)で、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画(公共施設等総合管理計画)の策定に取り組む旨の通知がなされ、平成28年度に吹田市公共施設総合管理計画を策定した。



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
19時41分30秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002020000	資産経営室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00084	固定資産台帳管理事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行政運営の推進							
細節	00								
予算事業	10043	01	02	01	01	19	01	01	固定資産台帳管理事業（一般管理費）
所属長	長井 浩				担当者（内線）岡田耕一郎（2725）				
根拠法令等	吹田市公有財産規則 吹田市固定資産取扱要領								
事業開始年度	平成25年度	直近の改正	平成27年度						
改正内容	吹田市公有財産規則の制定 吹田市固定資産取扱要領の制定								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	固定資産台帳の管理		
目標	市が所有する固定資産の情報を、全庁的に管理できる固定資産台帳管理システムの保守、運用をする。		
結果	全庁的に各所属が管理する資産情報をつぶさに把握でき、新公会計制度における財務諸表の作成や、公共施設最適化に寄与する。		
事業概要	新公会計制度の導入に伴い、市が所有する固定資産の調査を行ったデータを管理する。 固定資産台帳管理システムの保守、運用を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	富士通（株）
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	システム構築、保守。
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,063	1,062	1,063	1,062	1,063
人件費職員数(人)	3.90	3.90	3.90	3.90	3.90
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	31,863	30,810	31,403	31,403	30,986
総事業費(A+B)	32,926	31,872	32,466	32,465	32,049
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	32,926	31,872	32,466	32,465	32,049
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	32,926	31,872	32,466	32,465	32,049
財源計(C+D)	32,926	31,872	32,466	32,465	32,049

所属	資産経営室
事務事業番号	00084

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	固定資産の調査、データの作成及び管理	目標	固定資産台帳の精査及び固定資産台帳管理システムの運用
成果内容	市が保有する固定資産のコスト情報の一元管理	達成状況	各施設所管のほか、工事設計部門とも連携することで固定資産台帳の整備及び管理を行った。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 これまで整備した固定資産情報を継続管理したうえ、毎年度の決算事務では、各施設所管、工事設計部門と連携し、財産への投資を適切に把握し、新公会計制度の基礎資料となる事業別財務諸表の精緻化を図ることで市民共有財産の適正管理に寄与している。本市の固定資産台帳システムは、新公会計制度の導入に伴い導入した財務会計システムと一体的な運用ができるよう構築しており、通年での保守メンテナンス委託料として適切である。</p> <p>【今後の方向性】 担当職員の専門的な知識やノウハウが組織的に維持継承できるよう取り組む。また決算作業を通じ、施設管理所管が施設のフルコスト意識を高め、コストを意識した施設の適正管理の取組みを推進する。さらに、データの精緻化に取り組み、公共施設の維持管理、修繕、更新等に係る中長期的な経費の算出に活用し、公共施設最適化の推進に貢献するしくみに改良する。</p>

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	固定資産台帳管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00084				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

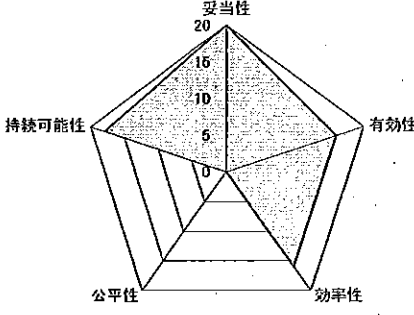
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	④利用者が対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
②サービスの水準は適正ですか。			
内部管理	点		
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	87	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	資産経営室	事務事業番号	00084
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>膨大な資産データを整理し、それを適切に管理及びシステムの運用をするためには、従来の手法とは異なる、効率性の高い制度設計をする必要がある。 また、データの信頼性を維持するためには、一層の精緻化に取り組むことが不可欠である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

--

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 8日  
13時52分14秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002020000	資産経営室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00085	公有財産管理事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	10050	01	02	01	04	01	01	01	公有財産管理事業（財産管理費）
所属長	長井 浩	担当者（内線）岡田 耕一郎（2725）							
根拠法令等	吹田市財務規則 吹田市公有財産規則 普通財産に係る貸付事務取扱要領								
事業開始年度	不明	直近の改正		平成2.8年度					
改正内容	普通財産に係る貸付事務取扱要領の改正								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	普通財産の管理		
目標	普通財産の適正管理、貸付等の有効活用及び売却		
結果	普通財産の適正管理、貸付等の有効活用及び売却		
事業概要	市有建築物の火災保険加入 普通財産の適正管理、貸付等の有効活用及び売却		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	エヌエス環境（株）等
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	土壌汚染調査
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	162,633	59,817	38,751	21,649	79,536
人件費職員数(人)	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	32,680	31,600	32,208	32,208	31,780
総事業費(A+B)	195,313	91,417	70,959	53,857	111,316
特定財源(C)	10	1,212	332	332	751
国	0	1,148	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	10	64	332	332	751
市負担(D)	195,303	90,205	70,627	53,525	110,565
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	195,303	90,205	70,627	53,525	110,565
財源計(C+D)	195,313	91,417	70,959	53,857	111,316

所属	資産経営室
事務事業番号	00085

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	普通財産の適正管理、売却及び有効活用等	目標	普通財産の適正管理、売却及び有効活用等
成果内容	普通財産の貸付及び売却収入により、既存施設の改修費用や新たな資産形成が可能となる。	達成状況	平成29年度において、【貸付】36,811千円(25件)、【売払】769,845千円(10件)を実施

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 普通財産の維持管理を行うとともに、将来の利活用を図るための費用として適切である。平成29年度は、普通財産の利活用として、【貸付】36,811千円(25件)、【売払】769,845千円(10件)を実施し収入を得ることが出来た。また、所管部局による普通財産活用を支援し、保育所誘致をはじめ、行政課題を解決する手段として普通財産を活用することが出来た。</p> <p>【今後の方向性】 「吹田市公有地利活用の考え方」に基づき普通財産の利活用を進める。利活用の一形態である貸付や売却を進めるため、普通財産に係る履歴や経過情報を整備し、資産管理業務そのものを再構築するとともに、担当職員の専門的な知識やノウハウが組織的に維持継承できるよう取り組む。また、地理情報システムの活用を検討するなど、業務の効率化を図り、公有財産のより有効な管理運用を目指す。</p>

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	公有財産管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00085				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

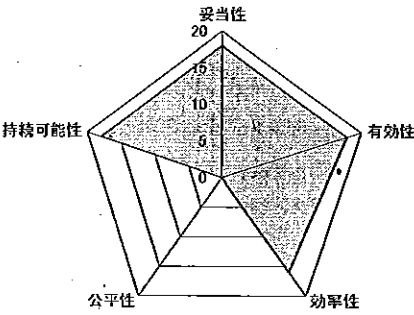
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
評価点合計 (100点満点)	87	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内特列市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	資産経営室	事務事業番号	00085
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

公有地は市民共有の財産との認識のもと、「吹田市公有地利活用の考え方」に基づき、未利用地も全て有効活用地と位置づけ、それぞれの土地の特性や現況の利用状況等を的確に把握し、具体的に貸付・売却が最適な利活用手法とされた財産について手続きを進めている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>これまでは面積情報を中心に管理してきたが、新公会計制度の導入以後は、価格情報をはじめとして、時価情報(減損会計への対応)、地歴情報(土壌汚染情報の管理)、瑕疵情報(処分予定財産の売主責任の担保)等、資産の流動化を図るうえで多岐にわたる情報の管理が求められている。また、保有している普通財産等の維持管理については、突発な事故、不測の事案により支出が増減する。 限られた予算の中で、上記の課題解消に努めていく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 1日  
18時38分57秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002020000	資産経営室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00845	小学校一般営繕事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	21	教育環境の充実／教育施設等の充実							
予算事業	10852	01	10	02	01	02	01	01	小学校一般営繕事業（小学校管理運営費）
所属長	長井 浩			担当者（内線）藤原 義紀（内2723）					
根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律								
事業開始年度	不明	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	小学校		
目標	教育環境の改善		
結果	安全性の確保及び快適な学習環境の整備		
事業概要	経年劣化が進む学校施設の修繕、保守点検等の実施		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	187,840	202,860	186,636	179,040	254,643
人件費職員数(人)	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	28,595	27,650	28,182	28,182	27,808
総事業費(A+B)	216,435	230,510	214,818	207,222	282,451
特定財源(C)	13	33	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	13	33	0	0	0
市負担(D)	216,422	230,477	214,818	207,222	282,451
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	216,422	230,477	214,818	207,222	282,451
財源計(G+D)	216,435	230,510	214,818	207,222	282,451

所属	資産経営室
事務事業番号	00845

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	学校からの要望に基づき、緊急を要する施設の不具合について修繕対応を行う。 設備機器の保守点検や、施設の定期点検等を行う。	目標	児童にとって安心・安全な学習環境を整備する。
成果内容	老朽化した施設の修繕や保守点検等を実施し、施設を安全な状態に維持することにより、児童が安心して学習できる環境を整えた。	達成状況	安全性に関わる修繕や点検を実施し、安心・安全な学習環境を整備した。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：日常的な修繕や、保守点検、定期点検等により児童の安全を確保するにあたり、必要な事業費であると考えられるため。)</p> <p>【今後の方向性】 目標とする効果が出ており、事業費も適切であるため、継続すべきである。なお、年次計画を策定している校舎大規模改修工事が進むに従い、校舎全体の不具合が解消されることで、小規模な修繕は減少していくと見込まれる。</p>		

## 事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	小学校一般管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00845				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
評価点合計 (100点満点)	90	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	資産経営室	事務事業番号	00845
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性及び効率性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なこと、及び改修工事を行う他の事業や年次的に工事を実施する大規模改造事業の実施状況や進捗により、当該事業の性質や事業量が変化するため、定量的な比較・評価ができないためである。限られた予算の中で効果的に実施するために、劣化状況の把握や工事の実施時期の調整を行う必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 1日  
18時39分40秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002020000	資産経営室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00846	小学校特別営繕事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	21	教育環境の充実／教育施設等の充実		
予算事業	10853	01	10	02
所属長	長井 浩	01	02	02
根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律			
事業開始年度	不明	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	小学校		
目標	教育環境の改善		
結果	安全性の確保及び快適な学習環境の整備		
事業概要	経年劣化が進む学校施設の補修工事、設計委託、監理委託の実施		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	192,907	191,805	162,680	121,560	172,689
人件費職員数(人)	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	20,425	19,750	20,130	20,130	19,863
総事業費(A+B)	213,332	211,555	182,810	141,690	192,552
特定財源(C)	0	8,371	0	0	0
国	0	8,371	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	213,332	203,184	182,810	141,690	192,552
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	8,295	0	0	0
一般財源	213,332	194,889	182,810	141,690	192,552
財源計(C+D)	213,332	211,555	182,810	141,690	192,552

所属	資産経営室
事務事業番号	00846

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	施設点検や劣化度調査の情報等に基づき、施設の不具合について補修工事を行う。 補修工事のための設計を行う。	目標	児童にとって安心・安全な学習環境を整備する。
成果内容	老朽化した施設の補修工事を実施し、施設を良好な状態に維持することにより、児童が安心して学習できる環境を整えた。	達成状況	老朽化対策としての補修工事を実施し、安心・安全な学習環境を整備した。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：年次的に実施する校舎・屋内運動場大規模改造事業では対象とならない特別教室や外構等の工事、部分的に行う外壁や防水等の工事を行うことにより、児童の安全を確保するにあたり、必要な事業費であると考えられるため。)</p> <p>【今後の方向性】 目標とする効果が出ており、事業費も適切であり、継続すべきである。</p>		

## 事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	小学校特別営繕事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00846				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特別市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
評価点合計 (100点満点)	90	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	資産経営室	事務事業番号	00846
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性及び効率性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なこと、及び改修工事を行う他の事業や年次的に工事を実施する大規模改造事業の実施状況や進捗により、当該事業の性質や事業量が変化するため、定量的な比較・評価ができないためである。限られた予算の中で効果的に実施するために、劣化状況の把握や工事の実施時期の調整を行う必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月21日  
17時10分40秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002020000	資産経営室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00855	小学校外壁等改修事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	21	教育環境の充実／教育施設等の充実							
予算事業	10874	01	10	02	02	01	01	60	小学校外壁等改修事業（小学校改修費）
所属長	長井 浩				担当者（内線）藤原 義紀（内2723）				
根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律								
事業開始年度	平成17年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input checked="" type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	小学校		
目標	学校施設の長寿命化		
結果	安全性の確保、良好な学習環境の整備		
事業概要	施設の経年劣化が進み、安全面での不具合や学校運営上の支障が生じているため、外壁、建具等の改修工事を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	31,018	32,307	211,723	186,717	0
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	0	0	0
総事業費(A+B)	31,835	33,097	211,723	186,717	0
特定財源(C)	7,000	0	0	51,785	0
国	7,000	0	0	51,785	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	24,835	33,097	211,723	134,932	0
地方債	12,100	23,000	0	107,300	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	12,735	10,097	211,723	27,632	0
財源計(G+D)	31,835	33,097	211,723	186,717	0

所属	資産経営室
事務事業番号	00855

2頁  
平成30年 6月21日  
17時10分40秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	老朽化が進む校舎外壁、建具等の改修工事を実施する。	校	目標値	1.00	14.00	0.00
			実績値	1.00	11.00	
			達成度(%)	100.00	78.60	
目標値の積算方法	年度ごとの工事実施校数。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	33,097.00	16,974.27	
			一般財源(千円)	10,097.00	2,512.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	老朽化した校舎外壁、建具等の改修工事を実施することにより、安全な学習環境の整備を図る。	校	目標値	1.00	14.00	0.00
			実績値	1.00	11.00	
			達成度(%)	100.00	78.60	
目標値の積算方法	年度ごとの工事実施校数。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	33,097.00	16,974.27	
			一般財源(千円)	10,097.00	2,512.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：年次的に実施する校舎大規模改造事業の計画対象外の学校や、計画の後期に予定されている学校を、劣化に応じて、外壁や建具改修の一部を実施することにより、児童の安全を確保するにあたり、必要な事業費であると考えられるため。)</p> <p>【進捗状況の評価】 状況に応じて対策を実施しており、今後も同様に進めていくものとする。</p> <p>【今後の方向性】 目標とする効果が出ており、事業費も適正であるため、継続すべきである。なお、年次計画を策定している大規模改造事業が進むに従い、校舎全体の不具合が解消されることで、工事の実施件数は減少していくと見込まれる。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	小学校外壁等改修事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00855				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
a. 滞給等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	資産経営室	事務事業番号	00855
-----	-------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性及び効率性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なことにより、定量的な比較・評価ができないためである。</p> <p>校舎の老朽化の進捗により、外壁コンクリートの剥落や建具の脱落などによる危険箇所は増加しており、引き続き対応が必要である。今後とも財源の確保に努めながら進めていく必要がある。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

学校施設の長寿命化改修の手引などが国から示され、老朽化対策の具体例等が示されている。

文部科学省では、平成25年に国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、「文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)」を策定し、地方公共団体の行動計画(本市における「吹田市公共施設総合管理計画」)も踏まえ、平成32年度までに個別施設計画(学校施設の長寿命化計画)を策定するよう通知している。なお、本市では先行して策定した「吹田市公共施設最適化計画【実施編】」における学校の個別施設計画も同様の扱いとしている。

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 1日  
18時41分16秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002020000	資産経営室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00859	中学校一般営繕事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	21	教育環境の充実／教育施設等の充実							
予算事業	10880	01	10	03	01	02	01	01	中学校一般営繕事業（中学校管理運営費）
所属長	長井 浩			担当者（内線）藤原 義紀（内2723）					
根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律								
事業開始年度	不明	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	中学校		
目標	教育環境の改善		
結果	安全性の確保及び快適な学習環境の整備		
事業概要	経年劣化が進む学校施設の修繕、保守点検等の実施		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	78,096	83,447	79,266	71,732	79,294
人件費職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	16,104	16,104	15,890
総事業費(A+B)	94,436	99,247	95,370	87,836	95,184
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	94,436	99,247	95,370	87,836	95,184
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	94,436	99,247	95,370	87,836	95,184
財源計(G+D)	94,436	99,247	95,370	87,836	95,184

所属	資産経営室
事務事業番号	00859

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	学校からの要望に基づき、緊急を要する施設の不具合について修繕対応を行う。 設備機器の保守点検や、施設の定期点検等を行う。	目標	生徒にとって安心・安全な学習環境を整備する。
成果内容	老朽化した施設の修繕や保守点検等を実施し、施設を安全な状態に維持することにより、生徒が安心して学習できる環境を整えた。	達成状況	安全性に関わる修繕や点検を実施し、安心・安全な学習環境を整備した。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 日常的な修繕や、保守点検、定期点検等により生徒の安全を確保するにあたり、必要な事業費であると考えられるため。)		
	【今後の方向性】 目標とする効果が出ており、事業費も適切であるため、継続すべきである。なお、年次計画を策定している校舎大規模改造工事が進むに従い、校舎全体の不具合が解消されることで、小規模な修繕は減少していくと見込まれる。		

## 事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	中学校一般営繕事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00859				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	90	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	資産経営室	事務事業番号	00859
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性及び効率性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なこと、及び改修工事を行う他の事業や年次的に工事を実施する大規模改造事業の実施状況や進捗により、当該事業の性質や事業量が変わるため、定量的な比較・評価ができないためである。限られた予算の中で効果的に実施するために、劣化状況の把握や工事の実施時期の調整を行う必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 1日  
18時42分08秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002020000	資産経営室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00860	中学校特別営繕事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	21	教育環境の充実／教育施設等の充実		
予算事業	10881	01	10	03
所属長	長井 浩	01	02	02
根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律			
事業開始年度	不明	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	中学校		
目標	教育環境の改善		
結果	安全性の確保及び快適な学習環境の整備		
事業概要	経年劣化が進む学校施設の補修工事、設計委託、監理委託の実施		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	99,490	85,481	126,846	115,337	97,120
人件費職員数(人)	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	12,255	11,850	12,078	12,078	11,918
総事業費(A+B)	111,745	97,331	138,924	127,415	109,038
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	111,745	97,331	138,924	127,415	109,038
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	111,745	97,331	138,924	127,415	109,038
財源計(C+D)	111,745	97,331	138,924	127,415	109,038

所属	資産経営室
事務事業番号	00860

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	施設点検や劣化度調査の情報等に基づき、施設の不具合について補修工事を行う。 補修工事のための設計を行う。	目標	生徒にとって安心・安全な学習環境を整備する。
成果内容	老朽化した施設の補修工事を実施し、施設を良好な状態に維持することにより、生徒が安心して学習できる環境を整えた。	達成状況	老朽化対策としての補修工事を実施し、安心・安全な学習環境を整備した。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 年次的に実施する校舎・屋内運動場大規模改造事業では対象とならない特別教室や外構等の工事、部分的に行う外壁や防水等の工事を行うことにより、生徒の安全を確保するにあたり、必要な事業費であると考えられるため。)</p> <p>【今後の方向性】 目標とする効果が出ており、事業費も適切であり、継続すべきである。</p>		

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	中学校特別営繕事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00860				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	資産経営室	事務事業番号	00860
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性及び効率性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なこと、及び改修工事を行う他の事業や年次的に工事を実施する大規模改造事業の実施状況や進捗により、当該事業の性質や事業量が変化するため、定量的な比較・評価ができないためである。限られた予算の中で効果的に実施するために、劣化状況の把握や工事の実施時期の調整を行う必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 1日  
18時42分48秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002020000	資産経営室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00869	幼稚園一般営繕事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり			
細節	21	教育環境の充実/教育施設等の充実			
予算事業	10901	01	10	04   01   02   01   01	幼稚園一般営繕事業（幼稚園費）
所属長	長井 浩		担当者（内線）藤原 義紀（内2723）		
根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律				
事業開始年度	不明	直近の改正	なし		
改正内容	なし				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	幼稚園		
目標	教育環境の改善		
結果	安全性の確保及び老朽建物のリフレッシュ		
事業概要	経年劣化が進む園舎の修繕、保守点検等について、児童部保育幼稚園室の事業計画に基づき実施する		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	8,485	7,810	8,445	7,474	14,940
人件費職員数(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	409	395	403	403	398
総事業費(A+B)	8,894	8,205	8,848	7,877	15,338
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	8,894	8,205	8,848	7,877	15,338
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,894	8,205	8,848	7,877	15,338
財源計(C+D)	8,894	8,205	8,848	7,877	15,338

所属	資産経営室
事務事業番号	00869

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	児童部保育幼稚園室の事業計画に基づき、施設の不具合について修繕対応を行う。 設備機器の保守点検等を行う。	目標	園児にとって安心・安全な学習環境を整備する。
成果内容	老朽化した施設の修繕や保守点検を実施し、施設を良好な状態に維持することにより、園児が安心して学習できる環境を整えた。	達成状況	児童部保育幼稚園室の事業計画通りに、安全性に関わる修繕や点検を実施し、安心・安全な学習環境を整備した。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：設計を要する修繕工事や、保守点検、定期点検等により園児の安全を確保するにあたり、必要な事業費と考えられるため。)</p> <p>【今後の方向性】 目標とする効果が出ており、事業費も適切である。なお、日常的な施設の修繕は保育幼稚園室において実施しており、事業計画は保育幼稚園室で行っていることから、当該事業も合わせて保育幼稚園室で実施することがより効率的である。</p>	

## 事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	幼稚園一般管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00869				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	4	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		c. 市が必ずしも関与する必要がない事業である。(1点)	1点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		c. 施策の推進にはあまり効果がない事業である。(1点)	1点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		c. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1点	
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点	
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点	
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	4	③適正な受益者負担を求めていますか。	内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点	
③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。				
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点			
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
c. 現在の事業のあり方では、期待する事業効果は得られない。(1点)	1点			
評価点合計 (100点満点)	55	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	資産経営室	事務事業番号	00869
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

当該事業については、児童部保育幼稚園室の事業計画に基づき予算を執行しているため、当室において評価できるのは有効性及び効率性についてのみと考える。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>当該事業については、児童部保育幼稚園室の事業計画に基づき予算を執行しているため、当室においては現状分析ができないと考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 1日  
18時43分29秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002020000	資産経営室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00870	幼稚園特別営繕事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	21	教育環境の充実／教育施設等の充実		
予算事業	10902	01	10	04
		01	02	02
		01		
所属長	長井 浩	幼稚園特別営繕事業（幼稚園費）		
根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律			
事業開始年度	不明	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	幼稚園		
目標	教育環境の改善		
結果	安全性の確保及び老朽建物のリフレッシュ		
事業概要	経年劣化が進む園施設の補修工事、設計委託、監理委託について、児童部保育幼稚園室の事業計画に基づき実施する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	7,912	7,493	7,874	6,491	7,086
人件費職員数(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	409	395	403	403	398
総事業費(A+B)	8,321	7,888	8,277	6,894	7,484
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	8,321	7,888	8,277	6,894	7,484
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,321	7,888	8,277	6,894	7,484
財源計(C+D)	8,321	7,888	8,277	6,894	7,484

所属	資産経営室
事務事業番号	00870

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	児童部保育幼稚園室の事業計画に基づき、施設の不具合について補修工事を行う。 補修工事のための設計を行う。	目標	園児にとって安心・安全な学習環境を整備する。
成果内容	老朽化した施設の補修工事を実施し、施設を良好な状態に維持することにより、園児が安心して学習できる環境を整えた。	達成状況	児童部保育幼稚園室の事業計画通りに老朽化対策としての補修工事を実施し、安心・安全な学習環境を整備した。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：補修工事を行うことにより、園児の安全を確保するにあたり、必要な事業費であると考えられるため。)</p> <p>【今後の方向性】 目標とする効果が出ており、事業費も適切である。なお、日常的な施設の修繕は保育幼稚園室において実施しており、事業計画は保育幼稚園室で行っていることから、当該事業も合わせて保育幼稚園室で実施することがより効率的であると考えられる。</p>		

## 事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	幼稚園特別宮繕事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00870				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	4	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		c. 市が必ずしも関与する必要がない事業である。(1点)	1点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		c. 施策の推進にはあまり効果がない事業である。(1点)	1点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		c. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	4	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
c. 現在の事業のあり方では、期待する事業効果は得られない。(1点)	1点		
評価点合計 (100点満点)	55	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	資産経営室	事務事業番号	00870
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

当該事業については、児童部保育幼稚園室の事業計画に基づき予算を執行しているため、当室において評価できるのは有効性及び効率性についてのみと考える。

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>当該事業については、児童部保育幼稚園室の事業計画に基づき予算を執行しているため、当室においては現状分析ができないと考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 1日  
18時36分23秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002020000	資産経営室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01051	土地開発基金繰出金事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	11494	01	12	01	01	01	01	01	土地開発基金繰出金事業（土地開発基金費）
所属長	長井 浩				担当者（内線）岡田 耕一郎（2725）				
根拠法令等	吹田市土地開発基金条例、吹田市土地開発基金管理・運用要領								
事業開始年度	昭和44年度	直近の改正	平成24年度						
改正内容	基金の額及び公共用地先行取得特別会計への貸付に関する規定を加えた。								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	土地開発基金		
目標	土地開発基金の運用益を土地開発基金へ繰り出す。		
結果	土地開発基金の適正な管理		
事業概要	土地開発基金の運用の結果得られた運用益について、吹田市土地開発基金条例第6条の規定に基づき、同基金へ繰り出す。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,720	204	1,679	471	2,642
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	5,354	1,784	3,290	2,082	4,231
特定財源(C)	3,720	204	1,679	471	2,642
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	3,720	204	1,679	471	2,642
市負担(D)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
財源計(C+D)	5,354	1,784	3,290	2,082	4,231

所属	資産経営室
事務事業番号	01051

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	土地開発基金の運用益を土地開発基金へ繰り出す。	目標	土地開発基金の運用益の適正管理
成果内容	土地開発基金の運用益を土地開発基金へ繰り出す。	達成状況	目標どおり進捗している。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 土地開発基金の運用益を適正に管理した。</p> <p>【今後の方向性】 現在、土地開発基金で所有する土地について、現金化を図っていく。</p>

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	土地開発基金繰出金事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01051				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	資産経営室	事務事業番号	01051
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	吹田市土地開発基金条例の規定に基づいて、適切な事務執行を行っている。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

--



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月21日  
17時21分04秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002020000	資産経営室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01335	小学校屋内運動場大規模改造事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	21	教育環境の充実／教育施設等の充実		
予算事業				
所属長	長井 浩	担当者（内線）藤原 義紀（内2723）		
根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律			
事業開始年度	平成17年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	小学校		
目標	学校施設（屋内運動場）の長寿命化		
結果	安全性の確保、良好な学習環境の整備		
事業概要	施設の経年劣化が進み、安全面での不具合や学校運営上の支障が生じているため、公共施設最適化の考え方を踏まえ、屋内運動場の外壁、屋上防水、建具、内装、トイレ等の改修工事を行う。 また、防災備蓄スペースの確保、トイレの整備などにより、地域の避難所としての整備を図る。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	585,723	1,002,833	544,895	484,012	582,511
人件費職員数(人)	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	585,723	1,002,833	544,895	484,012	582,511
特定財源(C)	87,000	100,193	0	109,846	0
国	87,000	100,193	0	109,846	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	498,723	902,640	544,895	374,166	582,511
地方債	273,800	652,900	0	305,300	0
その他	220,000	190,000	0	60,000	0
一般財源	4,923	59,740	544,895	8,866	582,511
財源計(C+D)	585,723	1,002,833	544,895	484,012	582,511

所属	資産経営室
事務事業番号	01335

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	老朽化が進む屋内運動場の大規模改造工事を実施する。	校	目標値	3.00	3.00	3.00
			実績値	3.00	3.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	年度ごとの工事実施校数。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	334,277.67	161,337.33	
			一般財源(千円)	19,913.33	2,955.33	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	老朽化した屋内運動場の大規模改造工事を実施することにより、施設の長寿命化や機能の維持・向上を図る。	校	目標値	24.00	21.00	18.00
			実績値	3.00	3.00	
			達成度(%)	12.50	14.30	
目標値の積算方法	年次計画全体を通じた工事実施校数。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	334,277.67	161,337.33	
			一般財源(千円)	19,913.33	2,955.33	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：地域の避難所ともなる屋内運動場において、計画的に老朽化対策を施すことにより施設の長寿命化や機能の維持・向上を図るにあたり、必要な事業費であると考えられるため。)</p> <p>【進捗状況の評価】 年次計画に基づいて予定通り事業を進めており、今後も当初の計画通り実施される見込みである。</p> <p>【今後の方向性】 目標とする効果が出ており、事業費も適正であるため、継続すべきである。また、併せて、吹田市公共施設総合管理計画における個別施設計画として一般建築物を対象とした吹田市公共施設最適化計画【実施編】に基づき、個々の施設の具体的な方向性の検討が進められていく中で、将来的な建替え等も含めた検討が必要になる。</p>

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	小学校屋内運動場大規模改造事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01335				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

持続可能性の評価における、事業開始当初比の事業費や市負担の増大については、年次計画により工事を実施する校数や規模等が異なるため、一概に評価できないものとする。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性、効率性及び公平性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なことにより、定量的な比較・評価ができないためである。          学校施設の耐震化は最優先で着手し、平成27年度に完了したが、老朽化対策が行われていないため、大規模改造工事を計画的に進めていく必要がある。          財源については、国の補助金を最大限獲得できるよう、検討していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

学校施設の長寿命化改修の手引などが国から示され、老朽化対策の具体例等が示されている。  
 文部科学省では、平成25年に国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、「文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)」を策定し、地方公共団体の行動計画(本市における「吹田市公共施設総合管理計画」)も踏まえ、平成32年度までに個別施設計画(学校施設の長寿命化計画)を策定するよう通知している。なお、本市では先行して策定した「吹田市公共施設最適化計画【実施編】」における学校の個別施設計画も同様の扱いとしている。

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月21日  
17時15分10秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002020000	資産経営室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01336	小学校校舎大規模改造事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	21	教育環境の充実／教育施設等の充実		
予算事業				
所属長	長井 浩	担当者（内線）藤原 義紀（内2723）		
根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律			
事業開始年度	平成12年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	小学校		
目標	学校施設の長寿命化		
結果	安全性の確保、良好な学習環境の整備		
事業概要	施設の経年劣化が進み、安全面での不具合や学校運営上の支障が生じているため、公共施設最適化の考え方を踏まえ、校舎の外壁、屋上防水、建具、内装等の改修工事を行う。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	□ 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
□ その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	711,706	2,499,167	1,904,248	1,651,934	2,474,837
人件費職員数(人)	2.50	2.50	2.60	2.60	2.60
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	711,706	2,499,167	1,904,248	1,651,934	2,474,837
特定財源(C)	163,267	293,927	0	311,348	0
国	163,267	293,927	0	311,348	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	548,439	2,205,240	1,904,248	1,340,586	2,474,837
地方債	273,700	1,609,300	0	1,155,700	0
その他	270,000	430,000	0	110,000	0
一般財源	4,739	165,940	1,904,248	74,886	2,474,837
財源計(C+D)	711,706	2,499,167	1,904,248	1,651,934	2,474,837

所属	資産経営室
事務事業番号	01336

2頁  
平成30年 6月21日  
17時15分10秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	老朽化が進む校舎の大規模改造工事を2ヶ年をかけて実施する。	校	目標値	4.00	8.00	8.00
			実績値	4.00	8.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	年度ごとの工事実施校数。1期工事、2期工事は別々に算定する。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	624,791.75	206,491.75	
			一般財源(千円)	41,485.00	9,360.75	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	老朽化した校舎の大規模改造工事を実施することにより、施設の長寿命化や機能の維持・向上を図る。	校	目標値	30.00	30.00	26.00
			実績値	0.00	4.00	
			達成度(%)	0.00	13.30	
目標値の積算方法	年次計画全体を通した工事実施校数。2ヶ年の工事が完了して実績校数に算定する。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	412,983.50	
			一般財源(千円)	0.00	18,721.50	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：施設の耐用年数を80年程度と設定し、計画的に老朽化対策を施すことにより、長寿命化や機能の維持・向上を図るにあたり、必要な事業費であると考えられるため。)</p> <p>【進捗状況の評価】 年次計画に基づいて予定通り事業を進めており、今後も当初の計画通り実施される見込みである。</p> <p>【今後の方向性】 目標とする効果が出ており、事業費も適正であるため、継続すべきである。また、併せて、吹田市公共施設総合管理計画における個別施設計画として一般建築物を対象とした吹田市公共施設最適化計画【実施編】に基づき、個々の施設の具体的な方向性の検討が進められていく中で、将来的な建替え等も含めた検討も必要である。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	小学校校舎大規模改造事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01336				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

持続可能性の評価における、事業開始当初比の事業費や市負担の増大については、年次計画により工事を実施する校数や規模等が異なるため、一概に評価できないものとする。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性、効率性及び公平性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なことにより、定量的な比較・評価ができないためである。</p> <p>学校施設の耐震化は最優先で着手し、平成27年度に完了したが、老朽化対策が行われていないため、大規模改造工事を計画的に進めていく必要がある。</p> <p>財源については、国の補助金を最大限獲得できるよう、検討していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

学校施設の長寿命化改修の手引などが国から示され、老朽化対策の具体例等が示されている。

文部科学省では、平成25年に国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、「文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)」を策定し、地方公共団体の行動計画(本市における「吹田市公共施設総合管理計画」)も踏まえ、平成32年度までに個別施設計画(学校施設の長寿命化計画)を策定するよう通知している。なお、本市では先行して策定した「吹田市公共施設最適化計画【実施編】」における学校の個別施設計画も同様の扱いとしている。



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月21日  
17時49分11秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002020000	資産経営室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01338	中学校屋内運動場大規模改造事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	21	教育環境の充実/教育施設等の充実		
予算事業				
所属長	長井 浩	担当者（内線）	藤原 義紀（内2723）	
根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律			
事業開始年度	平成15年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input checked="" type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	中学校		
目標	学校施設（屋内運動場）の長寿命化		
結果	安全性の確保、良好な学習環境の整備		
事業概要	<p>施設の経年劣化が進み、安全面での不具合や学校運営上の支障が生じているため、公共施設最適化の考え方を踏まえ、屋内運動場の外壁、屋上防水、建具、内装、トイレ等の改修工事を行う。</p> <p>また、防災備蓄スペースの確保、トイレの整備などにより、地域の避難所としての整備を図る。</p>		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	270,638	866,664	631,665	512,273	492,854
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	270,638	866,664	631,665	512,273	492,854
特定財源(C)	54,000	148,273	0	168,291	0
国	54,000	148,273	0	168,291	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	216,638	718,391	631,665	343,982	492,854
地方債	110,500	512,300	0	291,100	0
その他	100,000	140,000	0	52,882	0
一般財源	6,138	66,091	631,665	0	492,854
財源計(C+D)	270,638	866,664	631,665	512,273	492,854

所属	資産経営室
事務事業番号	01338

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	老朽化が進む屋内運動場の大規模改造工事を実施する。	校	目標値	2.00	2.00	2.00
			実績値	2.00	2.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	年度ごとの工事実施校数。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	433,332.00	256,136.50	
			一般財源(千円)	33,045.50	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	老朽化した屋内運動場の大規模改造工事を実施することにより、施設の長寿命化や機能の維持・向上を図る。	校	目標値	17.00	15.00	13.00
			実績値	2.00	2.00	
			達成度(%)	11.80	13.30	
目標値の積算方法	年次計画全体を通じた工事実施校数。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	433,332.00	256,136.50	
			一般財源(千円)	33,045.50	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：地域の避難所ともなる屋内運動場において、計画的に老朽化対策を施すことにより施設の長寿命化や機能の維持・向上を図るにあたり、必要な事業費であると考えられるため。)</p> <p>【進捗状況の評価】 年次計画に基づいて予定通り事業を進めており、今後も当初の計画通り実施される見込みである。</p> <p>【今後の方向性】 目標とする効果が出ており、事業費も適正であるため、継続すべきである。また、併せて、吹田市公共施設総合管理計画における個別施設計画として一般建築物を対象とした吹田市公共施設最適化計画【実施編】に基づき、個々の施設の具体的な方向性の検討が進められていく中で、将来的な建替え等も含めた検討が必要になる。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	中学校屋内運動場大規模改造事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01338				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	資産経営室	事務事業番号	0133B
-----	-------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

持続可能性の評価における、事業開始当初比の事業費や市負担の増大については、年次計画により工事を実施する校数や規模等が異なるため、一概に評価できないものとする。

## 3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>妥当性、有効性、効率性及び公平性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なことにより、定量的な比較・評価ができないためである。</p> <p>学校施設の耐震化は最優先で着手し、平成27年度に完了したが、老朽化対策が行われていないため、大規模改造工事を計画的に進めていく必要がある。</p> <p>財源については、国の補助金を最大限獲得できるよう、検討していく必要がある。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

学校施設の長寿命化改修の手引などが国から示され、老朽化対策の具体例等が示されている。

文部科学省では、平成25年に国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、「文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)」を策定し、地方公共団体の行動計画(本市における「吹田市公共施設総合管理計画」)も踏まえ、平成32年度までに個別施設計画(学校施設の長寿命化計画)を策定するよう通知している。なお、本市では先行して策定した「吹田市公共施設最適化計画【実施編】」における学校の個別施設計画も同様の扱いとしている。

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月21日  
17時39分47秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002020000	資産経営室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01339	中学校外壁等改修事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	21	教育環境の充実/教育施設等の充実		
予算事業				
所属長	長井 浩	担当者（内線）藤原 義紀（内2723）		
根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律			
事業開始年度	平成17年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	中学校		
目標	学校施設の長寿命化		
結果	安全性の確保、良好な学習環境の整備		
事業概要	施設の経年劣化が進み、安全面での不具合や学校運営上の支障が生じているため、外壁、建具等の改修工事を行う。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	102,823	294,640	201,095	159,662	0
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	102,823	294,640	201,095	159,662	0
特定財源(C)	25,000	53,604	0	44,869	0
国	25,000	53,604	0	44,869	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	77,823	241,036	201,095	114,793	0
地方債	40,100	174,200	0	106,100	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	37,723	66,836	201,095	8,693	0
財源計(C+D)	102,823	294,640	201,095	159,662	0

所属	資産経営室
事務事業番号	01339

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	老朽化が進む校舎外壁、建具等の改修工事を実施する。	校	目標値	2.00	11.00	0.00
			実績値	2.00	9.00	
			達成度(%)	100.00	81.80	
目標値の積算方法	年度ごとの工事実施校数。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	147,320.00	17,740.22	
			一般財源(千円)	33,418.00	965.89	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	老朽化した校舎外壁、建具等の改修工事を実施することにより、安全な学習環境の整備を図る。	校	目標値	2.00	11.00	0.00
			実績値	2.00	9.00	
			達成度(%)	100.00	81.80	
目標値の積算方法	年度ごとの工事実施校数。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	147,320.00	17,740.22	
			一般財源(千円)	33,418.00	965.89	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：年次的に実施する校舎大規模改造事業の計画対象外の学校や、計画の後期に予定されている学校を、劣化に応じて、外壁や建具改修の一部を実施することにより、生徒の安全を確保するにあたり、必要な事業費であると考えられるため。)</p> <p>【進捗状況の評価】 状況に応じて対策を実施しており、今後も同様に進めていくものとする。</p> <p>【今後の方向性】 目標とする効果が出ており、事業費も適正であるため、継続すべきである。なお、年次計画を策定している大規模改造事業が進むに従い、校舎全体の不具合が解消されることで、工事の実施件数は減少していくと見込まれる。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	中学校外壁等改修事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01339				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	92	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
評価点合計 (100点満点)	92	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	資産経営室	事務事業番号	01339
-----	-------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性及び効率性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なことにより、定量的な比較・評価ができないためである。</p> <p>校舎の老朽化の進捗により、外壁コンクリートの剥落や建具の脱落などによる危険箇所は増加しており、引き続き対応が必要である。今後とも財源の確保に努めながら進めていく必要がある。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>学校施設の長寿命化改修の手引などが国から示され、老朽化対策の具体例等が示されている。</p> <p>文部科学省では、平成25年に国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、「文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)」を策定し、地方公共団体の行動計画(本市における「吹田市公共施設総合管理計画」)も踏まえ、平成32年度までに個別施設計画(学校施設の長寿命化計画)を策定するよう通知している。なお、本市では先行して策定した「吹田市公共施設最適化計画【実施編】」における学校の個別施設計画も同様の扱いとしている。</p>
--



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月21日  
17時45分51秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002020000	資産経営室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01340	中学校校舎大規模改造事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	21	教育環境の充実／教育施設等の充実		
予算事業				
所属長	長井 浩	担当者（内線）藤原 義紀（内2723）		
根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律			
事業開始年度	平成13年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	中学校		
目標	学校施設の長寿命化		
結果	安全性の確保、良好な学習環境の整備		
事業概要	施設の経年劣化が進み、安全面での不具合や学校運営上の支障が生じているため、公共施設最適化の考え方を踏まえ、校舎の外壁、屋上防水、建具、内装等の改修工事を行う。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	559,977	1,002,895	625,003	563,071	1,517,185
人件費職員数(人)	2.50	1.50	1.50	1.50	1.50
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	559,977	1,002,895	625,003	563,071	1,517,185
特定財源(C)	95,820	105,588	0	107,646	0
国	95,820	105,588	0	107,646	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	464,157	897,307	625,003	455,425	1,517,185
地方債	249,300	649,800	0	379,700	0
その他	210,000	180,000	0	40,000	0
一般財源	4,857	67,507	625,003	35,725	1,517,185
財源計(C+D)	559,977	1,002,895	625,003	563,071	1,517,185

所属	資産経営室
事務事業番号	01340

2頁  
平成30年 6月21日  
17時45分51秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	老朽化が進む校舎の大規模改造工事を2ヶ年をかけて実施する。	校	目標値	2.00	4.00	5.00
			実績値	2.00	4.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	年度ごとの工事実施校数。1期工事、2期工事は別々に算定する。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	501,447.50	140,767.75	
			一般財源(千円)	33,753.50	8,931.25	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	老朽化した校舎の大規模改造工事を実施することにより、施設の長寿命化や機能の維持・向上を図る。	校	目標値	17.00	17.00	15.00
			実績値	0.00	2.00	
			達成度(%)	0.00	11.80	
目標値の積算方法	年次計画全体を通じた工事実施校数。2ヶ年の工事が完了して実績校数に算定する。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	281,535.50	
			一般財源(千円)	0.00	17,862.50	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:施設の耐用年数を80年程度と設定し、計画的に老朽化対策を施すことにより、長寿命化や機能の維持・向上を図るにあたり、必要な事業費であると考えられるため。)</p> <p>【進捗状況の評価】 年次計画に基づいて予定通り事業を進めており、今後も当初の計画通り実施される見込みである。</p> <p>【今後の方向性】 目標とする効果が出ており、事業費も適正であるため、継続すべきである。また、併せて、吹田市公共施設総合管理計画における個別施設計画として一般建築物を対象とした吹田市公共施設最適化計画【実施編】に基づき、個々の施設の具体的な方向性の検討が進められていく中で、将来的な建替え等も含めた検討も必要である。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	中学校校舎大規模改造事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01340				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難だが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	資産経営室	事務事業番号	01340
-----	-------	--------	-------

## 2. 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

持続可能性の評価における、事業開始当初比の事業費や市負担の増大については、年次計画により工事を実施する校数や規模等が異なるため、一概に評価できないものとする。

## 3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>妥当性、有効性、効率性及び公平性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なことにより、定量的な比較・評価ができないためである。</p> <p>学校施設の耐震化は最優先で着手し、平成27年度に完了したが、老朽化対策が行われていないため、大規模改造工事を計画的に進めていく必要がある。</p> <p>財源については、国の補助金を最大限獲得できるよう、検討していく必要がある。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

学校施設の長寿命化改修の手引などが国から示され、老朽化対策の具体例等が示されている。

文部科学省では、平成25年に国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、「文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)」を策定し、地方公共団体の行動計画(本市における「吹田市公共施設総合管理計画」)も踏まえ、平成32年度までに個別施設計画(学校施設の長寿命化計画)を策定するよう通知している。なお、本市では先行して策定した「吹田市公共施設最適化計画【実施編】」における学校の個別施設計画も同様の扱いとしている。

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月21日  
17時52分01秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002020000	資産経営室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01477	中学校トイレ施設整備事業				
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり				
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり				
細節	21	教育環境の充実／教育施設等の充実				
予算事業	11622	01	10	03	02   01   01   04	中学校トイレ施設整備事業（中学校改修費）
所属長	長井 浩		担当者（内線）藤原 義紀（内2723）			
根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律					
事業開始年度	平成27年度	直近の改正	なし			
改正内容	なし					
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	中学校		
目標	トイレの環境改善		
結果	安全性の確保、快適な学習環境の整備		
事業概要	施設の経年劣化が進み、安全面、衛生面での不具合や学校運営上の支障が生じているため、主に床仕上げの乾式化、便器の洋式化などの改修を行う。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	187,583	155,523	253,498	230,118	551,808
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	191,668	159,473	257,524	234,144	555,781
特定財源(C)	44,000	0	0	62,117	0
国	44,000	0	0	62,117	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	147,668	159,473	257,524	172,027	555,781
地方債	71,700	108,400	0	139,100	0
その他	70,000	30,000	0	32,927	0
一般財源	5,968	21,073	257,524	0	555,781
財源計(C+D)	191,668	159,473	257,524	234,144	555,781

所属	資産経営室
事務事業番号	01477

2頁  
平成30年 6月21日  
17時52分01秒作成

<活動指標>

		(1) 活動指標①	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	老朽化が進むトイレ施設の改修工事を実施する。	校		目標値	2.00	3.00	5.00
				実績値	2.00	3.00	
				達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	年度ごとの工事実施校数。	単位当たりコスト		総事業費(千円)	79,736.50	78,048.00	
				一般財源(千円)	10,536.50	0.00	
		(1) 活動指標②	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容				目標値	0.00	0.00	0.00
				実績値	0.00	0.00	
				達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト		総事業費(千円)	0.00	0.00	
				一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

		(2) 成果指標①	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	老朽化が進むトイレ施設の改修工事を実施することにより、安全で快適な生活環境の整備を図る。	校		目標値	18.00	16.00	13.00
				実績値	2.00	3.00	
				達成度(%)	11.10	18.80	
目標値の積算方法	年次計画全体を通じた工事実施校数。	単位当たりコスト		総事業費(千円)	79,736.50	78,048.00	
				一般財源(千円)	10,536.50	0.00	
		(2) 成果指標②	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容				目標値	0.00	0.00	0.00
				実績値	0.00	0.00	
				達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト		総事業費(千円)	0.00	0.00	
				一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：衛生面や生徒の健康面等の問題を抱えている学校施設のトイレの改修工事を実施し、快適な学習環境を整備するにあたり、必要な事業費であると考えられるため。)</p> <p>【進捗状況の評価】 年次計画に基づいて事業を進めており、今後も当初の計画通り実施される見込みである。</p> <p>【今後の方向性】 目標とする効果が出ており、事業費も適切であるため、継続すべきである。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	中学校トイレ施設整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01477				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	資産経営室	事務事業番号	01477
-----	-------	--------	-------

## 2. 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

持続可能性の評価における、事業開始当初比の事業費や市負担の増大については、年次計画により工事を実施する校数や規模等が異なるため、一概に評価できないものとする。

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性、効率性及び公平性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なことにより、定量的な比較・評価ができないためである。</p> <p>校舎の老朽化や、生活様式の洋式化により、トイレ施設の環境改善の必要性は年々増しており、今後、洋式化率の低い学校からリニューアル工事を年次的に進めていく必要がある。</p> <p>財源については、国の補助金を最大限獲得できるよう、検討が必要である。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

学校施設の長寿命化改修の手引などが国から示され、老朽化対策の具体例等が示されている。

文部科学省では、平成25年に国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、「文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)」を策定し、地方公共団体の行動計画(本市における「吹田市公共施設総合管理計画」)も踏まえ、平成32年度までに個別施設計画(学校施設の長寿命化計画)を策定するよう通知している。なお、本市では先行して策定した「吹田市公共施設最適化計画【実施編】」における学校の個別施設計画も同様の扱いとしている。



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月21日  
17時32分21秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002020000	資産経営室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01480	小学校トイレ施設整備事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	21	教育環境の充実／教育施設等の充実							
予算事業	11629	01	10	02	02	01	01	04	小学校トイレ施設整備事業（小学校改修費）
所属長	長井 浩			担当者（内線）			藤原 義紀（内2723）		
根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律								
事業開始年度	平成27年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input checked="" type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	小学校		
目標	トイレの環境改善		
結果	安全性の確保、快適な学習環境の整備		
事業概要	施設の経年劣化が進み、安全面、衛生面での不具合や学校運営上の支障が生じているため、主に床仕上げの乾式化、便器の洋式化などの改修工事を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	881,807	686,099	741,602	670,136	509,781
人件費職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	16,104	16,104	15,890
総事業費(A+B)	898,147	701,899	757,706	686,240	525,671
特定財源(C)	165,000	0	0	202,884	0
国	165,000	0	0	202,884	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	733,147	701,899	757,706	483,356	525,671
地方債	376,300	488,100	0	398,400	0
その他	340,000	160,000	0	80,000	0
一般財源	16,847	53,799	757,706	4,956	525,671
財源計(C+D)	898,147	701,899	757,706	686,240	525,671

所属	資産経営室
事務事業番号	01480

2頁  
平成30年 6月21日  
17時32分21秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	老朽化が進むトイレ施設の改修工事を実施する。	校	目標値	9.00	8.00	5.00
			実績値	9.00	8.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	年度ごとの工事実施校数。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	77,988.78	85,780.00	
			一般財源(千円)	5,977.67	619.50	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	老朽化が進むトイレ施設の改修工事を実施することにより、安全で快適な生活環境の整備を図る。	校	目標値	35.00	26.00	18.00
			実績値	9.00	8.00	
			達成度(%)	25.70	30.80	
目標値の積算方法	年次計画全体を通じた工事実施校数。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	77,988.78	85,780.00	
			一般財源(千円)	5,977.67	619.50	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：衛生面や児童の健康面等の問題を抱えている学校施設のトイレの改修工事を実施し、快適な学習環境を整備するにあたり、必要な事業費であると考えられるため。)</p> <p>【進捗状況の評価】 年次計画に基づいて事業を進めており、今後も当初の計画通り実施される見込みである。</p> <p>【今後の方向性】 目標とする効果が出ており、事業費も適切であるため、継続すべきである。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	小学校トイレ施設整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01480				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	資産経営室	事務事業番号	01480
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

持続可能性の評価における、事業開始当初比の事業費や市負担の増大については、年次計画により工事を実施する校数や規模等が異なるため、一概に評価できないものとする。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性、効率性及び公平性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なことにより、定量的な比較・評価ができないためである。</p> <p>校舎の老朽化や、生活様式の洋式化により、トイレ施設の環境改善の必要性は年々増しており、今後、洋式化率の低い学校からリニューアル工事を年次的に進めていく必要がある。</p> <p>財源については、国の補助金を最大限獲得できるよう、検討が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

学校施設の長寿命化改修の手引などが国から示され、老朽化対策の具体例等が示されている。

文部科学省では、平成25年に国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、「文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)」を策定し、地方公共団体の行動計画(本市における「吹田市公共施設総合管理計画」)も踏まえ、平成32年度までに個別施設計画(学校施設の長寿命化計画)を策定するよう通知している。なお、本市では先行して策定した「吹田市公共施設最適化計画【実施編】」における学校の個別施設計画も同様の扱いとしている。